

理研会報

発行日：令和5年3月29日
号数：No. 411
発行：印旛地区教育研究会理科研究部
HP：http://rikainba.com
メール：rikainba@yahoo.co.jp



年度末は人事異動の時期。理科研究部の理事の先生方の中にも今年末をもってご勇退される先生方がいらっしゃいます(右記参照)。理研会報411号では、メッセージいただきましたので掲載いたします。

本年度退職される理事の先生方

佐倉市立南志津小学校 大三川 弘先生
印西市立船穂小学校 小田 宗高先生

感謝

佐倉市立南志津小学校 大三川 弘

きっかけは、理科の先輩の先生でした。印教研理科研究部の会合に誘われて参加しました。三部会の理科研究部は、白熱した議論だけでなく、実験のコツや教材・教具の話まで、大変勉強になり楽しいものでした。若かったので研究の内容については、わからないことだらけで、恥ずかしながら役には立ちませんでした。しかし、人が集まって話をしていると、いろいろな話題に発展し、情報を共有することで「ちえ」を授かり、理科を指導するうえでこの「ちえ」はとても大切なものとなりました。研究員のみなさん、ありがとうございました。

さて、私は科学的な解決をするには児童・生徒の「なぜ」、「不思議だな」、「知りたいな」などの好奇心を大切にし、その事物・事象の問題解決するために必要な資質・能力を育てる必要があると考えています。特に授業では、好奇心をくすぐる仕掛けをどのようにすればよいのかを考えていたと思います。ノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎氏が、「好奇心こそが私の研究活動の原動力」と言っている通り、好奇心が科学的な解決の入り口になると考え、大切にしたいところだと思います。そして、理科教員の役割を考えると、理科室、白衣、楽しそうに授業を進めることなどが、好奇心をくすぐる仕掛けの一つだと気づくことになりました。つまり、理科教員の日ごろの言動が、理科好きな児童・生徒を育てていると思います。ぜひ、教員自ら、「理科は楽しい」オーラを発してほしいと願っています。

最後に、今の私を作っている土台は、理科研究部で培われたものです。理科研究部の皆さんと先輩の諸先生方に感謝し、印教研理科研究部の発展と皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

「たのしい理科」

印西市立船穂小学校 小田宗高

私は小学生の時から、実験や観察をとおしてふしぎなことをわくわくしながら調べていく、理科の授業が大好きでした。また、「科学」や「子どもの科学」を読んで、科学の世界への興味が増していき、電動消しゴムを自作したこともありました。しかし、中学生になってからは、先生の話聞いては実験を行うという流れの繰り返りで、自分で考えることが少なくなり、理科の時間が楽しくなくなりました。「もっと自分で考えて、納得できる理科の授業がいい」と思っていました。当時は「初歩のラジオ」や「ラジオの製作」を愛読し、秋葉原に行って部品を買って来ては、半田ごてを握ってラジオや降雨感知器などを組み立てて楽しんでいました。高校生活での理科の授業は、先生の話聞いて必死に理解することの繰り返りで、楽しいというよりは苦しいだけで、小学生の時のわくわく感がすっかり消えていました。

大学を卒業して、4年間コンピュータ関係の仕事に就いた後、小学校の教員になり、着任した佐原小学校の2年目に転機が訪れました。それは、理科の専科を任されたことです。2年生から4年生までの授業を受け持ちました。授業を通して子どもたちの心に火をつけて、子どもたちが自分の問題として捉え、自分の考えをもち、疑問を解き明かして、「そうか、わかったぞ」と思えるようにしようと、授業改善に努めました。教師の立場で、理科の楽しさに触れ、いつの間にか小学生の頃にわくわく感がよみがえり、子どもたちにも理科の楽しさを味わわせたいと強く思うようになりました。

やがて、第3部会に異動し、2度目の転機が訪れました。身近な先生が理科研究部に携わっていたことをきっかけに、私も3部会の理科研究部に参加させていただきました。3部会の研究は、「誰もができるちょっとした工夫で、授業をよりわかりやすくする」というコンセプトに基づく取組でした。これは、私自身の課題でもあった「理科が好きなのに、授業がわからないから楽しくない」という子どもを減らすことにつながると考え、他校の理科好きな先生方と共に、教材・教具や指導法の工夫に取り組みました。そして、稚拙ながらも、自分たちの研究成果を郡や県の研究協議会で発表させていただきました。この取組内容を多くの先生方に知っていただき、わずかでも子どもたちに還元できていたとすれば、ありがたいことだと思います。

これからも、先生方には、わかりやすい授業をとおして、教科書のタイトルにもある「たのしい理科」の実践を推進していただけることを願っております。

お知らせとお願い

- 学校現場を離れ行政等に異動された先生方が把握しきれず、ご迷惑をおかけすることがあります。大変お手数ですが、異動先を理科研究部へお知らせいただくと助かります。理科研究部へのメール (rikainba@yahoo.co.jp) までお知らせください。ご協力お願いいたします。

理研会報も本年度の最終号となりました。発行が遅れたことをお詫びいたします。多くの先生方に記事をお寄せいただき、理研会報を発行できました。今までのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。